# 第6章　重点プロジェクトの推進

## 1．家庭や地域の子育て支援の充実

育児に不安を感じる人や、多様な家庭がみられるなか、子どもが健やかに育つためには、家庭への支援がより一層重要になってきています。親へのこころのケアや家庭での育児力の向上を図るとともに、障がいのある子どものいる親、外国人など、さまざまな家庭が交流できる機会をつくり、さらに就学前の児童の教育や保育を一体的・総合的に促進して、子育てしやすいまちをめざすためのプロジェクトとします。

| | | |
|---|---|---|
| 方　針 | 育児への不安を軽減・解消し、育児に楽しさを感じることができるよう、家庭への支援に取り組むとともに、地域と連携しながら、支援します。 | |
| 重点事業 | 事業名 | 目標（平成 31 年度） |
| | 子育て情報の受発信事業<br>（平成 29 年度まで） | はびきの子育てネットの今後について検討します。 |
| | 病児・病後児保育事業<br>の調査研究 | 東部・中部における新たな事業について調査研究をします。 |
| | ペアレントトレーニング事業 | 支援が必要な保護者や家庭について学びの場を提供します。 |
| | 子育て親育ち支援学習事業 | 子育て親育ちを支援するための学習会や講座を、庁内関係部署が目標と目的を共有し、連携した取り組みを進めます。 |

◆成果指標

| 指標項目 | | ニーズ調査結果<br>（平成 20 年度） | ニーズ調査結果<br>（平成 25 年度） | 目標値<br>（平成 31 年度） |
|---|---|---|---|---|
| 子育てを楽しいと感じる人の割合 | 就学前 | 62.6% | 62.8% | 増やす |
| | 小学生 | 59.0% | 61.2% | 増やす |
| 子どもの接し方に自信が持てない人の割合 | 就学前 | 34.2% | 14.4% | 減らす |
| | 小学生 | 27.2% | 12.7% | 減らす |
| 子育てのストレス等から子どもにきつくあたってしまう人の割合 | 就学前 | 60.5% | 32.0% | 減らす |
| | 小学生 | 45.9% | 23.5% | 減らす |
| 子育てサークルへの参加者の割合 | 就学前 | 13.3% | 13.1% | 増やす |
| 子育て支援サービス情報を入手しやすい人の割合 | 就学前 | 13.3% | 15.9% | 増やす |

## 2. 健やかな子どもの育ちを支える環境づくり

これから親となる子どもたちの健やかな育ちが求められています。子どもが権利の主体であることの認識を深めるとともに、子どもが安全・安心に羽曳野市で健やかに育つための環境づくりを進めるプロジェクトとします。

| | | |
|---|---|---|
| 方　針 | 子どもが健やかに安心して成長することができるよう、学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの安全・安心を確保する環境づくりや、思春期における保健事業の充実に努めます。 | |
| 重点事業 | 事業名 | 目標（平成 31 年度） |
| | こども園の検討 | 幼稚園・保育園の耐震化、小学校への円滑な接続と連携、保育園での待機児童の解消と幼稚園児の減少の課題を解決するため、施設の配置状況も十分勘案しながら、こども園などの施設整備のあり方についての検討を進めます。 |
| | 学校施設の耐震化事業 | 小中学校体育館の非構造部材の耐震化に取り組みます。 |
| | 幼稚園・保育園の耐震化事業 | 幼稚園・保育園の耐震化を進めます。 |
| | 保育園リフレッシュ事業 | 老朽化した保育園施設の更新に取り組みます。 |
| | 学校園エアコン設置の調査研究 | エアコン設置の事業手法や費用対効果等を調査研究します。 |
| | 登下校時の安全対策等事業 | 14 小学校における登下校時の安全確保の充実に取り組みます。 |
| | 感染症対策事業 | インフルエンザなどの感染症対策の充実に取り組みます。 |
| | 思春期保健事業 | 思春期保健事業の推進に取り組みます。 |

### ◆成果指標

| 指標項目 | | ニーズ調査結果（平成 20 年度） | ニーズ調査結果（平成 25 年度） | 目標値（平成 31 年度） |
|---|---|---|---|---|
| 子育てが地域の人（社会）に支えられていると感じる人の割合 | 就学前 | 52.8% | 72.6% | 増やす |
| 病気や発育発達に関する不安がある人の割合 | 就学前 | 28.2% | 27.0% | 減らす |
| | 小学生 | 21.2% | 15.7% | 減らす |
| 子どもが巻き込まれる事故や犯罪の増加を感じる人の割合 | 就学前 | 34.5% | 26.7% | 減らす |
| | 小学生 | 50.1% | 45.0% | 減らす |

## ３．子どもの居場所づくり

子どもの居場所づくりについては、ニーズ調査の結果をみると、子どもの遊び場に関する要望が多く、現状への満足度も低くなっています。また、放課後児童クラブの充実とともに、すべての子どもの居場所づくりや交流の機会の充実が求められています。こうしたニーズを踏まえ、子どもの遊び場とともに、子ども同士の交流の機会を拡充するプロジェクトとします。

| | | |
|---|---|---|
| 方　針 | 子どもの豊かな心や社会性などをはぐくむため、子ども同士がふれあったり、交流できる場づくりや機会づくりを進めます。 | |
| 重点事業 | 事業名 | 目標（平成 31 年度） |
| | （仮称）西部スポーツ公園整備事業 | 市西部地区における屋外スポーツ施設の拠点として、広く市民が多目的に利用できるスポーツ公園の整備に取り組みます。 |
| | グレープヒルスポーツ公園グラウンド改修事業 | 利用者の利便性の向上と野球場としての施設機能の強化を図ります。 |
| | 公園や遊び場の充実事業 | 公園や遊び場の充実に向けて取り組みます。 |
| | 放課後児童健全育成事業 | 放課後児童健全育成事業の６年生までの拡大に取り組みます。 |
| | 放課後子ども教室事業 | 放課後子ども教室の全小学校での実施と充実に取り組みます。 |

### ◆成果指標

| 指標項目 | | ニーズ調査結果（平成 20 年度） | ニーズ調査結果（平成 25 年度） | 目標値（平成 31 年度） |
|---|---|---|---|---|
| 遊び場に満足している人の割合 | 就学前 | 12.1% | 10.0% | 増やす |
| | 小学生 | 8.5% | 7.1% | 増やす |
| 子どもにとって自然、社会、文化などの体験しやすい環境であると思う人の割合 | 小学生 | 18.2% | 19.2% | 増やす |